

第 32 期横浜市社会教育委員会議 第 5 回 方針と施策案

テーマ：本市における社会参加のすそ野の拡大について

前提：生活圏域で楽しく行う社会参加の推進

方針 1 社会参加のすそ野の見える化（・・・参加の入口が見えるようにする）

【施策 1】データの集約と提供

① データベースの構築と公開

- ・行政、公共施設、地域の団体、企業、NPO 等が行う講座やイベントなど、社会参加につながる情報を集める。
- ・集めた情報を伝えるために、インターネットを活用したデータベースの公開や、事業（フォーラム、シンポジウム等）の実施を行う。

方針 2 人材育成と活用（・・・参加者を募り、入口を増やす）

【施策 1】コーディネーターの育成

② 地域の情報を収集・発信する人材

- ・地域の草の根的な情報を集め、データベースに投稿する人材（はまっこグラマーなど）を養成する。

③ 社会教育士

- ・市民の学びを組織できる人材（案内人）として、社会教育士（*）の育成を支援する。

*社会教育士

国が定める養成課程を修めた者に、新たに与えられることとなった資格（2020 年 4 月施行）。

多様な分野における学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに携わる役割が期待されている。

【施策 2】市民の学びを継続的に支援する仕組みづくり

④ 社会教育士の活用

- ・育成した社会教育士が自立し、市民の学びを継続的に支援する仕組み（公募型の事業補助など）をつくる。

⑤ 交流の場

- ・コーディネーターを始めとした人材の交流の場をつくる。

⑥ 事務局

- ・①～⑤の施策を担える事務局の仕組みや場が必要である。



【大方針（ビジョン）】拡大するためには、

である。